



がこのまちの安心をつくる

更生保護活動と地域のつながり

犯罪や非行をした人が孤独や居場所のなさを感じ、再犯につながる場合があります。この特集では、犯罪や非行をした人への立ち直りを支援して再犯を防ぐ人たちがいることを知るほか、私たちが地域の一員としてできることを考えます。 **問合せ** 福祉政策課 (☎51・2355) **HP** 6515



更生保護活動を知ろう

更生保護活動とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支え、再犯防止や社会復帰につなげる取り組みです。保護司や更生保護女性会などの地域の人たちが、見守りや支援を行い、安全・安心なまちをつくることを目指しています。

更生保護活動の3つの柱

1 立ち直りを支える 保護観察

立ち直ろうとする人と定期的に面談を行い、生活や仕事、人間関係などの悩みを聞きながら、社会の中で安定した生活が送れるように支援します。



2 社会に戻るための居場所を整える 生活環境の調整

犯罪や非行をした人が円滑に社会に戻れるよう、住居の確保や仕事探しを支援します。



3 地域の犯罪や非行を防ぐ 犯罪予防活動

“社会を明るくする運動”や学校での出前講座、防犯パトロールなどの啓発活動を通して、更生保護への理解を広げ、犯罪や非行のないまちづくりに取り組んでいます。



青少年が太陽に向かって咲くひまわりのように明るく強く成長してほしいとの願いをこめて、昭和46年に“社会を明るくする運動”のシンボルマークとして作成されました。

更生保護活動を支える地域のパートナー

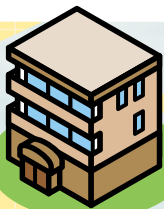
更生保護活動は、保護司などのさまざまな人たちが互いにに関わり合いながら、立ち直ろうとする人と地域をつないでいます。



犯罪や非行をした人

更生保護施設

出所して身寄りや住む場所がない人に対し、一時的に住居や食事を提供する施設です。規則正しい生活習慣の指導や、協力雇用主会やハローワークなどと連携して仕事探しを支援し、自立して社会へ復帰できるよう支えています。

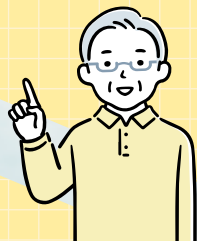


豊橋市の在籍者

113人

保護司

国から委嘱されたボランティアで特別な資格は必要なく、仕事の合間に活動をしている人がほとんどです。保護観察中の人や、刑務所から社会に出てきた1人ひとりと向き合い、日々の悩みの相談にのったり、仕事探しを助けたりします。同じ地域に暮らす身近な存在として、見守りながら、立ち直りを支えています。

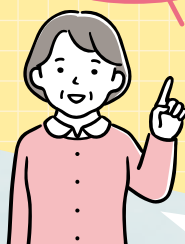


豊橋市の会員数

426人

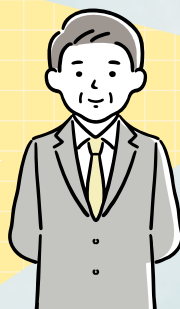
更生保護女性会

犯罪を防ぐための啓発活動や、更生保護施設での支援など、更生を支えるさまざまな活動を幅広く行うボランティア団体です。自分を気にかけてくれる人がいると感じられる環境づくりに取り組んでいます。

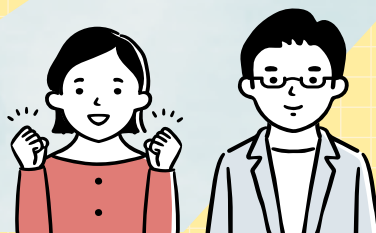


協力雇用主

立ち直ろうとする人を雇用し、社会復帰を支える事業者です。仕事を通して、人とのつながりが持てるように見守っています。



更生した人



地域の中に自分を気にかけてくれる人や相談できる相手がいることで、不安や悩みを抱え込まずに生活することができます。

地域で孤立させない。 おせっかいが人を支える。

活動を始めたきっかけは、町内会で更生保護女性会の担当になったことや、市役所職員時代に更生保護婦人会の皆さんと関わった経験があったからです。活動を続ける中で、地域の方から「ありがとうね」と声をかけていただけることが励みになっています。また、以前関わった子どもが、大人になって声をかけてくれた時は本当に嬉しかったです。

地域で孤立しないためには、声をかけ合い、支え合うことが大切だと思います。「更生保護活動・非行防止活動・子育て支援活動」を柱に、見守りや防犯活動など、地域に寄り添い、「おせっかいおばさん」の気持ちで活動しています。



豊橋市更生保護女性会 会長
余郷さん

人は変えられないが、 人を変えるきっかけは与えられる。

自治会活動をきっかけに保護司になり、約30年に渡り活動を続けています。「立ち直りたい」という思いをそばで支えたいという気持ちで向き合ってきました。特に印象に残っているのは、初めて担当した女の子です。出所後に「赤ちゃんが生まれたよ!」と写真が届いた時は、胸が熱くなりました。今でも時々連絡をくれて、「頼ってくれているんだな」と感じています。

犯罪や非行をした人が立ち直るには、地域の理解や見守りが欠かせません。孤立させないことが、再犯防止や安心して暮らせる地域につながると思っています。ぜひ皆さんも、温かい理解で彼らの更生を支えていただければ幸いです。



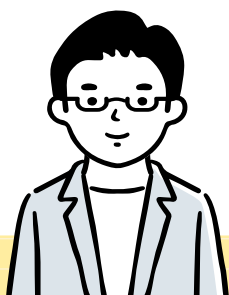
豊橋保護区保護司会 会長
山下さん

INTERVIEW

信じてくれた人の 期待を裏切らないために。

刑務所では、保護司さんと月2回の面談をしていました。出所前に就職先が決まっていたので、大きな不安はなく、新しい気持ちで社会復帰ができました。現在は、家族や友人、職場の方の協力や応援に感謝しています。当初は、定期的な面談に気が進まないこともありましたが、保護司さんが親身に話を聞いてくれたことが大きな支えとなり、道をそれることなく安定して仕事を続けられています。

今、生活の中で最も大切にしているのは「安定」です。仕事に当たり前に取り組む、普通の生活を送るといった基本を大切にしています。自分を信じて支えてくれる周りの期待に応え、その信用を絶対に裏切らないよう、これからも当たり前前の日常を積み重ねていきます。



更生した方

働く場所が、人を変える。

私は保護司の活動を20年ほどやってきましたが、更生していく人には共通点があります。働く場所がある人は、生活が安定して再犯もしなくなるということに気づきました。そこで、犯罪や非行をした人を受け入れようと思ったのをきっかけに、協力雇用主になりました。実際に働いてもらうと、一生懸命に働き、礼儀や挨拶がしっかりとっているだけでなく、技術を持っていて人も多く、今でも仕事を続けています。また、住む場所や社会とのつながりも大事です。「働ける場所・安心して暮らせる場所・相談できる環境」の3つが揃って初めて前を向けるんだと思います。地域にはいろんな人がいますが、お互いを理解しながら支え合える社会であってほしいです。



豊橋保護区
協力雇用主会 会長
朝倉さん

1人ひとりの思いやりが、地域のつながりをつくれます

更生保護の取り組みは、保護司や更生保護女性会だけが担うものではありません。私たちの小さな思いやりや地域との関わりが、誰かの立ち直りを支え、犯罪のない安全・安心なまちをつくれます。

〈地域での安心感〉

近所との挨拶



〈地域での支え合い〉

困っている人への声掛け



〈地域での交流〉

地域のイベントに参加



見守り活動



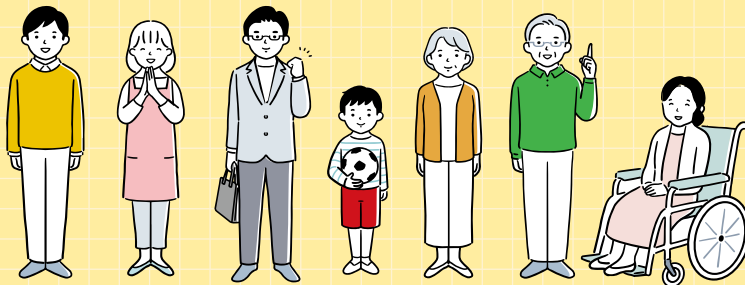
相談を聞く



ボランティア活動への参加



犯罪や非行のない安全・安心なまち



社会を明るくする運動

立ち直ろうとする人への理解を深め、新たな被害者も加害者も生まない、安全で安心な明るい地域社会を目指す全国的な運動です。

7月は強調月間のため、7/1(水)～7/31(金)に中央図書館での関連図書の展示のほか、各地域でさまざまな活動が行われます。

啓発活動
のようす



地域の理解と見守りが、立ち直りを支える力になります。
活動に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ

豊橋更生保護サポートセンター (☎56・4431)
※毎週月・水・金曜日 11:00～16:00